乳用牛

参考資料1

試行版　第1版

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート　【データ入力シート】　黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

基本情報

生乳出荷量（kg-生乳/年）	221,811	←⓪
未経産牛（育成用雌子牛含む）（頭）	4	←①
経産牛数（頭）	25	←②
うち初産（頭）	8	←③
うち二産（頭）	7	←④
うち三産以上（頭）	5	←⑤
搾乳牛数（頭）	20	←⑥
乾乳牛数（頭）	5	←②-⑥
乳脂肪率（%）	3.78	←⑦
所在地（都道府県）	北海道	

牛群検定成績表から入力

	未経産牛（育成用雌子牛含む）
初産分娩月齢（か月）	標準値を使う

飼料

畜種	データ単位	乳用種	
		搾乳牛	乾乳牛・未経産牛（育成用雌子牛含む）
乾物摂取量	kg/頭/年	推計値を使う	推計値を使う
CP値	kg/頭/日	推計値を使う	推計値を使う
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない

項目			データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力		産地		温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値		温室効果ガス排出量	
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		年		kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		日		kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-7.14.E+02 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		年		kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		サイレージ（その他）	データを入力する		年		kg/年	② ①以外の国内	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-9.64.E+03 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		稲わら	データを入力する		日		kg/日	② ①以外の国内	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
	濃厚飼料	配合飼料	標準値を使う					ー		4.00.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う					③ 北米	産	1.67.E+03 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		飼料用米	標準値を使う					④ 南米	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		エコフィード	標準値を使う					⑥ アジア	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年
		その他濃厚飼料	標準値を使う					⑤ 豪州	産	1.35.E+04 kg-CO2e/年	1.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年		kg-CO2e/年

排せつ物処理

排せつ物管理方法	処理方法１	処理方法２	処理方法３	処理方法４
ふん	混合	分離	―	―
尿		堆積発酵		
ふん尿	堆積発酵	天日乾燥		
処理方法別割合	2	1		

（比率を入力）

経営に係る設備関連のエネルギー等

燃料・電力使用量	データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力		温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値		温室効果ガス排出量		チェック
A重油	データを入力する		体積 (L)		L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
軽油	データを入力する		金額 (円)		円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-3.10.E+03 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
灯油	データを入力する		体積 (L)		L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-4.99.E+03 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
ガソリン	データを入力する		金額 (円)		円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-5.29.E+02 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
系統電力	標準値を使う					1.14.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kWh/年		kg-CO2e/年	OK
LPG	標準値を使う					1.38.E+02 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		m3/年		kg-CO2e/年	OK
都市ガス	標準値を使う					0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		m3/年		kg-CO2e/年	OK

乳用牛

算定結果表示シート

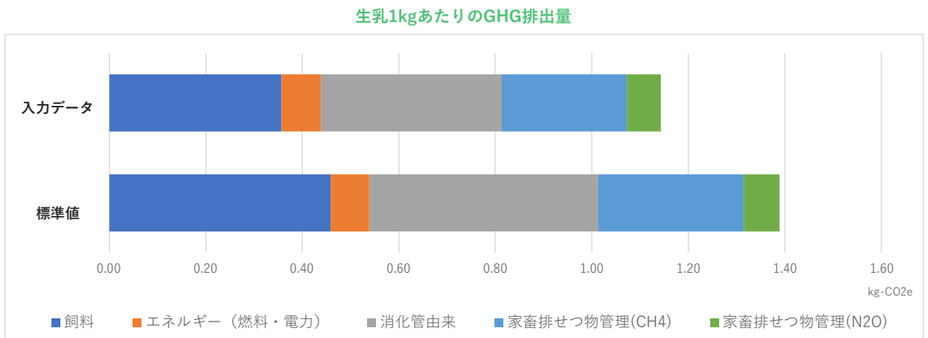
製品名	乳用種
生産地	北海道
算定者	算定　太郎
算定者連絡	03-****-****
算定実施日	2024年2月12日
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日
温室効果ガス排出量削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	-
	-
	排せつ物処理

本算定について
算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。本算定における「標準値」は、同畜種（乳用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。本算定では、標準値に比して、生乳１kg当たりのGHG排出量が-17.73%となることが見込まれる結果となりました。 本算定シートは、令和５年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2023年1月1日～2023年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。 「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。 算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。

自由記述欄

生乳1kgあたりの温室効果ガス排出削減量（CO_2換算値）

GHG削減量（対標準値）※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加		割合
合計	**-0.25 kg-CO2e/kg**	**-17.73%**
飼料	-0.10 kg-CO2e/kg	-22.11%
エネルギー（燃料・電力）	+0.00 kg-CO2e/kg	2.17%
消化管由来	-0.10 kg-CO2e/kg	-21.25%
家畜排せつ物管理(CH4)	-0.04 kg-CO2e/kg	-13.72%
家畜排せつ物管理(N2O)	-0.00 kg-CO2e/kg	-5.76%



入力したデータに基づくGHG排出量（生乳1kgあたり）※１			標準値（生乳1kgあたり）※１	
生乳1kgあたりのGHG排出量	**1.14 kg-CO2e/kg**	**割合**	**1.39 kg-CO2e/kg**	**割合**
飼料	0.36 kg-CO2e/kg	31.25%	0.46 kg-CO2e/kg	33.01%
エネルギー（燃料・電力）	0.08 kg-CO2e/kg	7.14%	0.08 kg-CO2e/kg	5.75%
消化管由来	0.37 kg-CO2e/kg	32.74%	0.48 kg-CO2e/kg	34.20%
家畜排せつ物管理(CH4)	0.26 kg-CO2e/kg	22.72%	0.30 kg-CO2e/kg	21.67%
家畜排せつ物管理(N2O)	0.07 kg-CO2e/kg	6.14%	0.07 kg-CO2e/kg	5.36%

※１ 4%脂肪補正乳量。（標準値は生乳出荷量：8068kg/頭/年（北海道）、生乳出荷量：8540kg/頭/年（都府県）、乳脂肪率：3.92%として換算）